

## 1. 事業の実施報告

### (1) 調査研究のねらい

学校教育に対する期待や学校教育が抱える課題が一層複雑・多様化している中で、「保護者等連携マニュアル」を作成して、学校の問題解決力の向上を図る。

### (2) 事業の実施状況

- ・ 6月 「保護者等連携マニュアル」作成検討会議（第1回）を開催。編集方針を策定し、マニュアル作成ワーキンググループによる作成作業を開始。
- ・ 10月 「保護者等連携マニュアル」作成検討会議（第2回）を開催。冊子案についての意見交換を行う。
- ・ 2月 「保護者等連携マニュアル」作成検討会議（第3回）を開催。冊子内容確定に向けての意見交換と、今後の活用方策の検討を行う。
- ・ 3月 「学校・家庭・地域をつなぐ保護者等連携の手引き～子どもたちの健やかな成長のために～」発行。

## 2. 調査研究の成果（実施による効果）

6月・10月に開催した「保護者等連携マニュアル」作成検討会議での意見交換等により、「教職員が、正当なクレームを無理難題だと認識したり、面倒なことだと感じたりしやすく、それが態度に表れてしまったために、相手の怒りを増強させることがある」ことや「保護者の怒りや無理な要求に感情的に振り回されることなく、その背景にある保護者のしんどさや不安、真のニーズについてのアセスメント（見立て）の意識を持ち、その点について理解・共感した上で、学校としての限界は率直に伝えつつも、子どもの最善の利益に向けた対応プランを積極的に提示していく必要がある」ことなどの視点について提言を受け、これらを踏まえて冊子の作成を進めた。

11月から1月にかけて、冊子内容をさらに充実させるため、学校と保護者等との関係にかかわる諸問題に詳しい大学の研究者、法律の専門家に専門的な観点からの教職員向けアドバイスを執筆いただき、最新の知見を提供していただいた。

2月に開催した検討会議では、「研修編の内容を充実させ、現場で活用しやすい冊子にしてほしい」等の提言を受けて、効果的な研修の進め方に留意して内容を充実させた。3月には、「学校・家庭・地域をつなぐ 保護者等連携の手引き ～子どもたちの健やかな成長のために～」として、冊子の内容を確定し、今後府立学校全校に配付予定。

（参照）大阪府教育委員会「保護者等連携の手引き」

<http://www.pref.osaka.jp/attach/6340/00000000/renkeitebiki.pdf>

## 3. 今後の取組予定

- 作成した冊子の周知を図るとともに、府教育センターにおける研修や校内研修等で活用する。
- 校内研修等での活用状況を、平成22年度に調査し、効果的な活用の工夫を検討する。